令和5年 自己評価表（令和6年度実施）

学校法人 東栄国際学園 埼玉日本語学校

●学校の教育理念

- ・正しく美しい日本語を習得し、高等教育機関への進学・国内外への就職等、本人の希望の進路の実現を目指す。
- ・日本語を通じて、国際社会で求められる知識・技能・教養を身につけ、世界の舞台で活躍できる有能な人材を育成する。

●評価項目の達成及び取組状況

評価点：5…達成している、4…ほぼ達成している、3…どちらとも言えない、
2…取り組みを検討中、1…改善が必要

（1）教育理念・目標

評価項目	評価点
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	5
・学校の将来構想を抱いているか	5
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	5

【具体的な取り組み・課題】

受入する留学生の国籍が変わってきている。学校の理念は守りつつ、さまざまな国籍の学生バックグラウンドを理解した上で、説明会や面接時の周知の仕方に留意している。

（2）学校運営

評価項目	評価点
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	5
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	5
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	5
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	5
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	5
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	5
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	5
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5

【具体的な取り組み・課題】

学生数が増加傾向にありさらなる教員の新規採用が必要である。それに伴い、業務の効率化も課題であ

る。情報共有や連絡・相談に落ち度がないようにこれからも徹底していきたい。

(3) 教育活動

評価項目	評価点
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5
・カリキュラムは体系的に編成されているか	5
・授業評価の実施・評価体制はあるか	5
・成績評価・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	5
・目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	5

【具体的な取り組み・課題】

認定日本語教育機関の申請を控え、よりよい教材・カリキュラムにするための検討と試行を実践中である。新規採用教員に対しても採用後の研修の内容を見直しており、中堅以上の教師についても学内・学外の研修への参加を促すための情報共有を積極的に行っている。

(4) 学生支援

評価項目	評価点
・進学に関する支援体制は整備されているか	5
・学生相談に関する体制は整備されているか	5
・各種試験の合格率・成績向上に向けて対処しているか	5
・学生の心身の健康管理を担う組織体制はあるか	5
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	5
・学生の生活環境への支援は行われているか	5
・退学率の低減が図られているか	5
・財政保証人および保護者と適切に連携しているか	5
・大学・専門学校との連携による取組が行われているか	5

【具体的な取り組み・課題】

進学指導の体制は整えているが、留学生の急増により、学生の希望と現実の結果の厳しさに直面している。より早く、より確実な進路指導をするため、学生との面談をより密に行うようにしなければならない。学生の日常については各教師からの報告を担当者が受付して早い対応を心がけており、トラブル回避に努めている。近隣で行われている外国人対象のイベント情報も校内で共有して、希望者は教師や職員が引率して、日本人との有意義な交流ができるよう実践している。

(5) 教育環境

評価項目	評価点
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	5
・防災に対する体制は整備されているか	5

【具体的な取り組み・課題】

消防署主催の防災イベントの参加や、避難訓練の実施などを行い、留学生にも災害に対する意識をってもらう機会をなるべく設けるようにしている。消防点検や教室内外の防災設備等の点検は、定期的に業者に依頼して適切に行っている。災害時に必要となる飲料水等の備蓄の確認、担架や救急用品の準備も行っている。

(6) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価点
・学生募集活動は、適正に行われているか	5
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
・学納金は妥当なものとなっているか	5

【具体的な取り組み・課題】

当校の受入れ基準となる日本語能力・経費支弁能力を有する学生を書類審査と面接で選抜している。正確な学校情報・教育内容・教育成果・学納金などについては入学希望者の理解できる言語で開示し説明している。学生を紹介してくれる機関に関しても厳正に選定している。

(7) 財務

評価項目	評価点
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
・財務について会計監査が適正に行われているか	5

【具体的な取り組み・課題】

経営母体である学校法人東栄国際学園において中長期的にみて財政基盤に問題はない。予算・収支計画については法人の理事会・評議員会の審議を経て有効かつ妥当なものとなっている。会計は会計事務所に委託し適正な会計処理を行っており、監事による会計監査を受け学校法人の理事会・評議員会において承認を受けている。

(8) 法令等の遵守

評価項目	評価点
・法令、各種学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	5
・自己評価結果を公開しているか	5

【具体的な取り組み・課題】

法令、各種学校設置基準等を遵守し、今後も適正な運営がなされるよう留意していきたい。個人情報を多く扱う業務は担当者を限定し、情報漏洩対策を実施している。学校に複数あるメールアドレスやクラウドも、アクセス権限を指定して、みだりに閲覧できないよう徹底している。システムのメンテナンスを定期的に行うよう留意しなければならない。